

2010年度前期「文系チャレンジ講座（全4回）」実施予定と講義要旨

主催：大分大学経済学部

場所：大分大学経済学部203号教室

日時：第3水曜日 16:30～17:30

遠隔配信先：大分雄城台高校、大分商業高校、日田高校、安心院高校、大分鶴崎高校、
中津南高校（予定）

概要

本講座は、経済学部の4名の教員がリレー方式で高校生向けに開講します。経済学・経営学に加え、法学や言語研究のエッセンスを短時間でわかりやすく学習できます。

第1回 2010年4月21日（水）16.30-17.30 身近な事例から考えてみよう —法律の基礎— 藤村賢訓（経済学部准教授）

法律といえば一般的に難解で馴染みが薄いものと考えがちですが、日常生活において、私達がいかに身近に法律と関わっているかを紹介し、法律学にはじめて触れるみなさんに、法への興味と関心を持ってもらうことを目的としています。この講義では、高校生の日常生活を題材に、法律の仕組みとの考え方についてわかりやすく学んでいきます。たとえば、自動販売機でジュースを買おうと120円を入れたが商品が出てこないとき、自動車に接触され骨折してしまったとき、インターネットに悪口を書かれたとき、デートをすっぱかされたとき、あなたはどうしますか。答えは講義のなかでお話しましょう。

第2回 2010年5月19日（水）16.30-17.30 現代社会における企業の重要性

仲本大輔（経済学部准教授）

トヨタが製造する乗用車の急加速問題、インターネット検索大手のグーグルが中国から検索事業を撤退することを決定した等、企業に関する何らかのニュースを毎日見聞きしていると思います。また、一企業の動きをめぐる、政府間の対立にまで発展することがあることも目にしていると思います。この講義では、企業が現代社会に果たしている役割と存在感の大きさをお話しします。そして、みなさんの進路選択の参考になるように、企業を中心とする、組織というものを研究対象としている経営学とはどのような学問なのか、についても紹介します。

第3回 2010年6月16日（水）16.30-17.30 経済学的な考え方

高見博之（経済学部教授）

経済学は、身近な問題を検討する際に有益な分析道具を提供してくれます。衆議院議員選挙などの国政選挙の場合、消費税や年金、景気対策など経済問題が主たる争点となる場合もあります。経済学的な考え方を身に付けていれば、高校生のみなさんが近い将来に有権者となった場合、経済学部以外の学部を卒業する場合でも、投票時の有力な判断基準となるでしょう。この講義では、現実のトピックも例に挙げながら、意思決定の判断の材料となる経済学的な考え方の一端に触れられるよう議論を進めていきます。

第4回 2010年7月21日(水) 16.30-17.30

言語が違えば世界の見え方も違う??!!

柿原武史(経済学部准教授)

皆さんはなぜ英語を勉強しているのでしょうか。世界の人たちと友だちになりたいからという人もいれば、将来仕事で必要になりそうだから、受験科目にあるからという理由を挙げる人もいるでしょう。英語の勉強が得意な人もいれば、苦手な人もいるでしょう。この講義では、英語に限らず言語の勉強が楽しくなるような話をしたいと考えています。世界には様々な言語があり、言語によって世界の見方が異なるという説があります。だとすると、新しい言語を知れば、今までとは違う世界が見えるようになるのです!一緒に新しい世界への扉を開きましょう。